

事務事業評価シート

計画対象年度	平成27年度							
事務事業名	中小企業対策事業（政策）						事業類型	補助事業
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	なし
			07	01	02	03	政策経費	
総合計画体系	第4章 活力ある産業を育てるまちづくり						総合計画対象	対象
	第3節 商工業の振興						市民協働	市民主体
	[1] 商工業						担当課係等	観光商工課
1 商業環境の活性化						観光商工担当		
事業期間	継続（ 年度～ ）							

現状把握の部 (D0)

【目的】	【関連事業】	
茨城県、茨城県信用保証協会、市が連携し市内の中小企業者に対する事業資金の融資とこれに関する保証をあっ旋し、市内中小企業者へ円滑な融資を行い、健全な経営確保を図る。	なし	
【期待される効果】	【対象者】	
市内中小企業者へ円滑な融資を行うことにより、健全な経営確保に繋がる。	中小企業者	
【全体概要】	【特記事項】	
金融機関への預託により自治金融の融資を低利で行い、更に、信用保証料を全額補助することにより中小企業の経営安定化を図る。また、中小企業金融制度を利用した企業者が、万が一、借入金の返済が困難となった場合は、損失補償寄託金により、保証協会が中小企業者に代わって金融機関に代位弁済をする。	中小企業の資金繰り対策として自治金融利子補給制度を平成20年に改正し、平成21年度から保証料の全額補助を行った。その後、平成25年度から借入限度額等を改正し、更に、融資金利が低利となり利用者が急増した。長年に亘り自治金融利子補給制度を実施してきたが、融資金利が低利となったため、資金あっ旋利子補給金の新規受付を平成27年9月で廃止した。	
【平成26年度 事業内容】	【平成27年度 事業内容】	【平成28年度 事業内容】
<ul style="list-style-type: none"> ・資金あっ旋利子補給金 ・資金あっ旋保証料補給金 ・自治金融預託金 ・茨城県信用保証協会損失補償寄託金 	<ul style="list-style-type: none"> ・資金あっ旋利子補給金 ・資金あっ旋保証料補給金 ・自治金融預託金 ・茨城県信用保証協会損失補償寄託金 	<ul style="list-style-type: none"> ・資金あっ旋利子補給金 ・資金あっ旋保証料補給金 ・自治金融預託金 ・茨城県信用保証協会損失補償寄託金

■ 事業費

		H26年度	H27年度	H28年度					
財源	国庫支出金	0	0	0					
	県支出金	0	0	0					
	自主財源	46,511	42,721	37,900					
	歳入計（千円）	46,511	42,721	37,900					
歳出	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）					
	19 負担金、補助及び交付金	26,011	26,121	21,500					
	21 貸付金	18,000	15,000	16,000					
	24 投資及び出資金	2,500	1,600	400					
歳出計（千円）（A）	46,511	42,721	37,900						
（参考）	当初予算額	44,500	当初予算額	41,100	伸び率(%)	決	-11.2	予	-7.78
職員人工数	0.00	0.49	0.49						
職員人件費（B）	0	3,768	3,940						
総事業費（A）＋（B）	46,511	46,489	41,840						

■指標						
種類	指標名	単位		H26年度	H27年度	H28年度
活動	自治金融利子補給交付件数	件	目標	300.00	300.00	300.00
	自治金融利子補給を支払った件数		実績	321.00	340.00	0.00
指標	資金あつ旋保証料補給補給件数	件	目標	150.00	150.00	150.00
	保証料補給金を支払った件数		実績	84.00	105.00	0.00
成果	自治金融制度利用件数	件	目標	100.00	100.00	100.00
	商工会に融資を申請した件数		実績	91.00	167.00	0.00
指標	セーフティネット融資利用件数	件	目標	100.00	100.00	100.00
	取扱い金融機関に融資を申請した件数		実績	41.00	69.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 各種融資制度を活用することにより、市内中小企業の活性化に結びつく。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は、税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 中小企業の健全な経営確保を図り、安定した商業活動を支援するため。
有効性 評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上らない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 景気の変動や社会情勢により事業者が自ら資金不足により申請するものであるため、近隣市町村の動向を見ながら制度の見直しも必要となる。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 景気が悪い時期に制度を廃止すると、中小企業者が融資を受けづらくなる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 他の商工関係事業と検討することは可能。
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。 (仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 景気や近隣市町村の動向を注視しながら、率、補助額等を見直すことは可能。
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。 公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 市内の中小企業者が対象となっており、公平性は保たれている。

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	景気の変動や社会情勢を踏まえ、近隣市町村の動向を注視しながら内容の変更を検討していく。
1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方法的性（改革・改善策）） 記入者：根本和幸 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持）		
改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 資金幹旋保証料補給金については、景気の動向や自治金融利用件数を踏まえ変更を検討しながら事業を継続する。		
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方法的性（改革・改善策）） 記入者：田崎 清 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持）		
担当部長としての意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 内容を検討しながら事業を継続する。		

事務事業評価シート

計画対象年度	平成27年度							
事務事業名	商工振興事業（政策）						事業類型	補助事業
予算科目	会計	01	款 07	項 01	目 02	事業 05	要求区分 政策経費	根拠法令 なし
総合計画体系	第4章 活力ある産業を育てるまちづくり						総合計画対象	対象
	第3節 商工業の振興						市民協働	行政の関与
	[1] 商工業						担当課係等	観光商工課
1 商業環境の活性化								観光商工担当
事業期間	継続（ 年度～ ）							

現状把握の部 (D0)

【目的】 商工会を中心とした経営指導により、中小企業や商業活動の経営改善を推進する。住宅リフォーム助成事業により市内産業の振興に貢献する。	【関連事業】 なし	
【期待される効果】 商工会を中心とした経営指導により、中小企業の経営安定と住宅リフォーム助成事業活用による市内産業の活性化。	【対象者】 商工業者	
【全体概要】 商工会を中心とした経営指導により中小企業や商業活動の経営改善を、住宅リフォーム助成事業により市内産業の振興に貢献する。	【特記事項】 住宅リフォーム助成事業の補助金増額により更なる市内産業振興の貢献に努める。	
【平成26年度 事業内容】	【平成27年度 事業内容】	【平成28年度 事業内容】
・ 商工振興対策事業費補助金 ・ 住宅リフォーム補助金	・ 商工振興対策事業費補助金 ・ 住宅リフォーム補助金	・ 商工振興対策事業費補助金 ・ 住宅リフォーム補助金 ・ 商工振興キャンペーン委託

■ 事業費

		H26年度	H27年度	H28年度					
財源	国庫支出金	0	1,275	1,500					
	県支出金	0	9,600	0					
	自主財源	18,023	19,775	19,550					
	歳入計（千円）	18,023	30,650	21,050					
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）					
	13 委託料	0	9,650	50					
	19 負担金、補助及び交付金	18,023	21,000	21,000					
歳出計（千円）（A）	18,023	30,650	21,050						
（参考）	当初予算額	18,050	当初予算額	21,050	伸び率(%)	決	-31.3	予	0.00
職員人工数	0.00	0.25	0.25						
職員人件費（B）	0	1,923	2,011						
総事業費（A）＋（B）	18,023	32,573	23,061						

■指標						
種類	指標名	単位		H26年度	H27年度	H28年度
活動 指標	経営指導員の相談件数	件	目標	2,500.00	2,500.00	2,500.00
	経営相談と金融制度のあつ旋・税務申告など		実績	1,230.00	2,078.00	0.00
	住宅リフォームの申請件数	件	目標	60.00	60.00	60.00
	住宅リフォーム助成補助金の申請件数		実績	34.00	39.00	0.00
成果 指標	商工会の会員数	人	目標	780.00	780.00	780.00
	商工会に加入している会員数		実績	752.00	734.00	0.00
	住宅リフォーム助成に伴う経済効果	千円	目標	65,000.00	65,000.00	65,000.00
	住宅リフォーム助成申請事業費		実績	73,984.00	45,239.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 商工会を中心とした経営指導により中小企業や商業活動の経営改善を推進し、また、住宅リフォーム助成事業により市内産業の活性化に結びつく。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は、税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 商工会は商工法に定められた中小企業のための団体で、市内産業を支援するため経営相談や融資あつ旋業務を行っているため、一定の補助は必要である。
有効性 評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上がない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 必要な補助金であるが、検証、見直しは必要である。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 市内の商業活動が低下する。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 他の商工関係事業と検討することは可能。
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。 (仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 制度内容を見直す。
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。 公平・公正になっているか。	<input type="checkbox"/> 公平・公正である <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 住宅リフォーム補助金については予算の範囲内となっているため。

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	商業活動を支援するため商工会と連携を図り、情報の提供や指導、相談体制の充実に努める。
1次評価 (1次評価者として判断した今後の事務事業の方法的性 (改革・改善策))		記入者: 根本和幸
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持)		
改革・改善の具体的内容 (改革案・実行計画) 商工会と連携し中小企業や商業活動の支援を行うため、情報提供や経営指導を行う。 また、住宅リフォーム補助金については市内事業者への周知を行い利用者を募る。		
2次評価 (2次評価者として判断した今後の事務事業の方法的性 (改革・改善策))		記入者: 田崎 清
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持)		
担当部長としての意見・考え方 (1次評価者と同じ場合も記入) 事業を継続し中小企業の経営安定と活力ある地域づくりを推進する。		

事務事業評価シート

計画対象年度	平成27年度						事務事業評価シート			
事務事業名	消費者支援事業（政策）						事業類型	相談・指導		
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分 政策経費	根拠法令	なし	
			07	01	02	07				
総合計画体系	第4章 活力ある産業を育てるまちづくり						総合計画対象	対象		
	第3節 商工業の振興						市民協働	市民主体		
	[2] 消費生活						担当課係等	観光商工課		
1 消費者支援の促進						観光商工担当				
事業期間	継続（ 年度～ ）									

現状把握の部 (D0)

【目的】 市民の消費生活に関する相談及び苦情を適正かつ迅速に処理し、消費生活の安定及び向上を図る。	【関連事業】 なし	
【期待される効果】 消費者保護と安定した消費生活確保。	【対象者】 市民	
【全体概要】 市民の消費生活に関する相談及び苦情を適正かつ迅速に処理し、消費生活の安定及び向上を図るため、県と連携し、相談体制の充実や消費者に対する情報提供等、悪質商法の撲滅を図る。	【特記事項】 平成28年度から消費者の安全確保と住み良い地域づくりに貢献することを目的とした消費者支援活動の推進を図るため「消費者支援団体活動補助金」を交付。	
【平成26年度 事業内容】	【平成27年度 事業内容】	【平成28年度 事業内容】
・消費生活啓発グッズ作成 ・消費生活センター通信作成	・消費生活啓発グッズ作成 ・消費生活センター通信作成 ・消費生活センターホームページ更新	・消費生活啓発グッズ作成 ・消費生活センター通信作成 ・消費者支援団体活動補助金

■ 事業費

		H26年度	H27年度	H28年度					
財源	国庫支出金	0	0	0					
	県支出金	0	638	635					
	自主財源	1,312	96	36					
	歳入計（千円）	1,312	734	671					
歳出	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）					
	11 需用費	1,298	674	622					
	13 委託料	0	50	0					
	19 負担金、補助及び交付金	14	11	49					
歳出計（千円）（A）	1,312	734	671						
（参考）	当初予算額	4,600	当初予算額	742	伸び率(%)	決	-8.58	予	-9.56
職員人工数	0.00	0.28	0.28						
職員人件費（B）	0	2,153	2,252						
総事業費（A）＋（B）	1,312	2,887	2,923						

■指標						
種類	指標名	単位		H26年度	H27年度	H28年度
活動 指標	消費者行政会議の参加回数	回	目標	5.00	5.00	5.00
	国や県等が開催する会議への参加回数		実績	4.00	7.00	0.00
	消費者相談員研修の参加回数	回	目標	20.00	20.00	20.00
	消費者相談員が研修に参加した回数		実績	10.00	9.00	0.00
成果 指標	消費者トラブル情報の収集・情報提供件数	件	目標	70.00	70.00	70.00
	地域の消費者トラブル情報の収集・提供件数		実績	68.00	72.00	0.00
	消費者生活相談件数	件	目標	200.00	200.00	200.00
	消費生活相談件数		実績	245.00	240.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 消費生活に関する相談及び苦情を適正かつ迅速に処理することにより、市民の消費生活の安定及び向上に結びつく。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は、税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 市民の安定した消費生活を確保するため。
有効性 評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上らない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 県消費生活センターと連携し、苦情や相談に対応する体制を強化し、情報のいち早い提供等、迅速な対応を心掛ける。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 市民の安定した消費生活が確保できない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 類似事業があれば検討可能。
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。 (仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 内容の見直し。
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。 公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 啓発リーフレット、消費生活センター通信等を配布し、知識の普及と情報提供に努めている。

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	相談体制等を充実させ、市民の安定した消費生活を確保する。
1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方法的性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持）		記入者：根本和幸
改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 消費生活センターの体制を充実させるとともに、相談員の人材確保に努める。		
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方法的性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持）		記入者：田崎 清
担当部長としての意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 消費生活相談体制を充実させ、適切な相談が行えるよう努める。		

事務事業評価シート

計画対象年度	平成27年度		観光PR推進事業（政策）					事業類型	広報・啓発		
予 算 科 目	会計	01	款 07	項 01	目 03	事業 03	要求区分 政策経費	根拠法令	なし		
総合計画体系	第4章 活力ある産業を育てるまちづくり							総合計画対象	対象		
	第4節 観光の振興							市民協働	市民の関与		
	[1] 観光							担当課係等	観光商工課		
3 観光の推進体制とPRの充実							観光商工係				
事業期間	継続（ 年度～ ）										

現状把握の部 (D0)

【目的】 県観光協会等の各種関係機関との連携により、県外も含め広域的に市の観光を周知させるとともに、市ブランド「湖山の宝」の形成による地域知名度を高める。	【関連事業】 なし	
【期待される効果】 県及び観光関連団体、関係市町村との連携を推進し、県外も含め広域的に当市の観光をPRさせる効果がある。	【対象者】 観光関連団体、来客者	
【全体概要】 県及び県観光協会・JR東日本・水郷筑波国定公園近隣の関係市との連携を促進し、県外も含め広域的に市の観光を周知させるためのPRを行うとともに、新たなソーシャルネットワーク活用により、観光交流人口の拡大を図る。	【特記事項】 なし	
【平成26年度 事業内容】	【平成27年度 事業内容】	【平成28年度 事業内容】
<ul style="list-style-type: none"> ・観光PR活動 ・湖山の宝普及促進 ・観光ガイドマップ作成 ・JAF（日本自動車連盟）との連携 ・広域観光団体との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光PR活動 ・湖山の宝普及促進 ・観光ガイドマップ作成 ・JAF（日本自動車連盟）との連携 ・広域観光団体との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光PR活動 ・湖山の宝普及促進 ・観光ガイドマップ作成 ・JAF（日本自動車連盟）との連携 ・広域観光団体との連携

■ 事業費

		H26年度	H27年度	H28年度
財源	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	自主財源	1,103	16,024	1,026
	歳入計（千円）	1,103	16,024	1,026
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	08 報償費	0	37	0
	09 旅費	24	10	50
	11 需用費	771	681	621
	12 役務費	4	4	4
	13 委託料	304	799	351
	18 備品購入費	0	14,494	0
歳出計（千円）（A）	1,103	16,024	1,026	
（参考）	当初予算額	16,737	当初予算額	1,664
職員人工数	0.44	0.44	0.44	
職員人件費（B）	3,445	3,384	3,538	
総事業費（A）＋（B）	4,548	19,408	4,564	

■指標						
種類	指標名	単位		H26年度	H27年度	H28年度
活動 指標	観光PR回数	回	目標	10.00	10.00	10.00
	県内外で観光PRを行った回数		実績	10.00	14.00	0.00
	観光PRパンフレット配布枚数	枚	目標	10,000.00	10,000.00	10,000.00
	観光PRパンフレット配布枚数		実績	20,000.00	20,000.00	0.00
成果 指標	市観光協会のホームページ閲覧数	件	目標	0.00	53,000.00	53,000.00
	市観光協会のホームページ閲覧者数		実績	0.00	295,901.00	0.00
	湖山の宝パスポート申請件数	件	目標	300.00	100.00	100.00
	湖山の宝パスポート申請した件数		実績	53.00	11.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 県、関係市町村、観光関連団体との連携により、県外も含め広域的に当市の観光をPRすることができる。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は、税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 県、関係市町村、観光関連団体との連携により、観光情報を発信することが重要なため。
有効性 評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上らない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 新たなソーシャルネットワークの活用により観光情報を発信する。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 観光PRに大きな成果があるため。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 他に類似した事業がない。
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。 (仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 県及び関係市町村、観光関連団体との連携を図り実施している。
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 県及び関係市町村、観光関連団体と連携を図り、観光情報を発信している。

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	これまで連携を図ってきた県及び関係市町村、観光関連団体に加え、新たな県及び関係市町村、観光関連団体とも連携を図り、広域的な観光情報の発信に努める。
	1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方法的性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持）	記入者：根本和幸
	改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 観光ガイドブックを作成するとともに、SNS等を活用し市の観光PRを行っていく。	
	2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方法的性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持）	記入者：田崎 清
	担当部長としての意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 事業を継続し、当市の観光資源の情報を発信する。	

事務事業評価シート

計画対象年度	平成27年度						事務事業名				都市農村交流事業（政策）				事業類型	広報・啓発			
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分		根拠法令	なし									
			07	01	03	05	政策経費												
総合計画体系	第4章 活力ある産業を育てるまちづくり								総合計画対象		対象								
	第1節 農林業の振興								市民協働		市民の関与								
	[1] 農林業								担当課係等		観光商工課								
4 農業環境の活性化								観光商工係											
事業期間	継続（ 年度～ ）																		

現状把握の部 (D0)

【目的】 市特産物である生鮮野菜や水産加工品の販売を行い、地域産業の活性化に努めるとともに、都市を視野に入れた農水産物の販路拡大と観光振興を図る。	【関連事業】 なし	
【期待される効果】 市外及び県外へかすみがうら市の認知度、観光、特産品をPRすることができる。	【対象者】 来客者	
【全体概要】 板橋区民を対象とした当市への日帰りバスツアーの受入れや都市部へのイベント参加を通じて、都市との交流を図り市内への誘客を図る。また、消費拡大を図るため様々なアイデアを駆使する。	【特記事項】 なし	
【平成26年度 事業内容】	【平成27年度 事業内容】	【平成28年度 事業内容】
<ul style="list-style-type: none"> ・農水産物消費拡大の推進 ・バスツアー ・板橋交流事業 ・カシマフレンドリーデイズ ・活性化センター借地料 	活性化センター生産物直売所の増築工事 及び実施設計業務委託	なし

■ 事業費

		H26年度	H27年度	H28年度					
財源	国庫支出金	0	0	0					
	県支出金	0	0	0					
	自主財源	3,758	3,983	0					
	歳入計（千円）	3,758	3,983	0					
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）					
	13 委託料	0	689	0					
	15 工事請負費	3,758	3,294	0					
歳出計（千円）（A）	3,758	3,983	0						
（参考）	当初予算額	851	当初予算額	3,165	伸び率(%)	決	皆減	予	皆減
職員人工数	0.39	0.39					0.39		
職員人件費（B）	3,054	2,999					3,136		
総事業費（A）＋（B）	6,812	6,982					3,136		

■指標						
種類	指標名	単位		H26年度	H27年度	H28年度
活動 指標	増築工事設計委託	回	目標	0.00	1.00	0.00
	活性化センター増築工事実施設計委託		実績	0.00	1.00	0.00
	現場監督業務	回	目標	0.00	10.00	0.00
	関係機関との打合せ		実績	0.00	16.00	0.00
成果 指標	増築工事	回	目標	0.00	1.00	0.00
	活性化センターの増築工事		実績	0.00	1.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 市特産品である生鮮野菜や水産加工品の販売を行うことで地域産業の活性化になる。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は、税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 市外、県外での認知度が深まり、観光、特産品のPRにつながる。
有効性 評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上らない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 新たな商品開発が必要になる。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 地域産業、農水産物の販路に影響がある。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 民間企業との連携が可能だが、時間が必要となる。
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。 (仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 民間企業との連携により削減できる可能性はある。
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。 公平・公正になっているか。	<input type="checkbox"/> 公平・公正である <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 新たな魅力ある商品の開発が必要となる。

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	新たに魅力ある商品開発を行うとともに、民間企業との連携により販路拡大を図る。
	1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方法的性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持）	記入者：根本和幸
	改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 利用者の利便性向上のため施設の修繕、改修等を行う。	
	2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方法的性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持）	記入者：田崎 清
	担当部長としての意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 事業継続。	

事務事業評価シート

計画対象年度	平成27年度								
事務事業名	観光交流推進事業（政策）						事業類型	イベント・行事・各種講座教室等	
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	なし	根拠法令
			07	01	03	07	政策経費		
総合計画体系	第4章 活力ある産業を育てるまちづくり						総合計画対象	対象	
	第4節 観光の振興						市民協働	行政の関与	
	[1] 観光						担当課係等	観光商工課	
2 観光資源の活用						観光商工係			
事業期間	継続（ 年度～ ）								

現状把握の部 (D0)

【目的】 観光協会が実施する諸事業を補助することにより、市の観光情報の提供や知名度を高めることを目指す。また、毎年実施される、かすみがうら祭・あゆみ祭り・帆引き船フェスタを市民の交流とふるさと意識の高揚の場とする。	【関連事業】 なし	
【期待される効果】 県内外へ当市の観光及び特産品をPRすることで市の認知度が深まる。祭やイベントを開催することで交流人口の増加が図られる。	【対象者】 来客者	
【全体概要】 帆引き船の操業や各種イベント（かすみがうら祭・あゆみ祭り・帆引きフェスタ）を開催し、文化団体の発表や地場産品等の展示販売を行うことにより、地域文化の創出と産業の振興を図る。	【特記事項】 なし	
【平成26年度 事業内容】	【平成27年度 事業内容】	【平成28年度 事業内容】
<ul style="list-style-type: none"> ・帆引き船フェスタ会場設営 ・観光協会補助金 ・かすみがうら祭実行委員会補助金 ・果樹観光協会補助金 	<ul style="list-style-type: none"> ・帆引き船フェスタ会場設営 ・観光協会補助金 ・かすみがうら祭実行委員会補助金 ・果樹観光協会補助金 	<ul style="list-style-type: none"> ・帆引き船フェスタ会場設営 ・観光協会補助金 ・かすみがうら祭実行委員会補助金 ・果樹観光協会補助金 ・あゆみ祭り補助金

■ 事業費

		H26年度	H27年度	H28年度					
財源	国庫支出金	0	0	0					
	県支出金	0	0	0					
	自主財源	18,862	21,362	20,742					
	歳入計（千円）	18,862	21,362	20,742					
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）					
	11 需用費	0	4	0					
	19 負担金、補助及び交付金	18,862	21,358	20,742					
歳出計（千円）（A）	18,862	21,362	20,742						
（参考）	当初予算額	18,980	当初予算額	18,980	伸び率(%)	決	-2.90	予	9.28
職員人工数	1.05	1.05	1.05						
職員人件費（B）	8,221	8,074	8,443						
総事業費（A）＋（B）	27,083	29,436	29,185						

■指標						
種類	指標名	単位		H26年度	H27年度	H28年度
活動 指標	観光イベントの開催	回	目標	20.00	20.00	20.00
	観光の周知拡大と市内の魅力を伝えるためのイベントを開催		実績	20.00	25.00	0.00
	祭広報ポスター	枚	目標	400.00	400.00	400.00
	祭ポスターによる周知拡大		実績	400.00	400.00	0.00
成果 指標	交流人口	人	目標	70,000.00	70,000.00	70,000.00
	かすみがうら祭、あゆみ祭り、帆引き船フェスタの来場者数		実績	64,000.00	83,000.00	0.00
	祭に関する苦情件数		目標	0.00	0.00	0.00
	苦情件数		実績	3.00	10.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 祭やイベントを開催することで交流人口の拡大が図られている。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は、税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 市民の認知度が高く交流人口の拡大が図られている。
有効性 評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上がらない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 祭やイベントは、高額な費用を要するため、費用の見直しが必要。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 市民の認知度が高く大きな宣伝効果がある。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 他に類似した事業がない。
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。 (仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 観光関連団体との連携により費用削減を図る。
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。 公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 市民の認知度が高く交流人口の拡大が図られる。

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	祭やイベントでの効果を検証し、改善すべき点や費用の削減が図れるか検討する。
1次評価 (1次評価者として判断した今後の事務事業の方法的性 (改革・改善策)) 記入者: 根本和幸 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持) 改革・改善の具体的内容 (改革案・実行計画) 各種イベントについては効果を検証し改善やコスト削減に努めるとともに、衛生面に十分注意を払うこと。		
2次評価 (2次評価者として判断した今後の事務事業の方法的性 (改革・改善策)) 記入者: 田崎 清 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持) 担当部長としての意見・考え方 (1次評価者と同じ場合も記入) 担当職員を県内外のイベントに参加させ、その特性を見極めて市イベントに反映させていく。		

事務事業評価シート

計画対象年度	平成27年度						事務事業評価シート			
事務事業名	雪入ふれあいの里公園等管理運営事業（政策）						事業類型	管理・運営		
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分 政策経費	根拠法令	なし	
			07	01	03	09				
総合計画体系	第4章 活力ある産業を育てるまちづくり						総合計画対象	対象		
	第4節 観光の振興						市民協働	市民の関与		
	[1] 観光						担当課係等	観光商工課		
1 観光拠点の整備						観光商工係				
事業期間	継続（ 年度～ ）									

現状把握の部 (D0)

【目的】 身近な自然環境の中で昆虫や野鳥観察及び植物とのふれあい、これらの観察を通じて自然への理解を深める。	【関連事業】 なし
【期待される効果】 自然環境の豊かな公園で自然とのふれあいを求める来園者が多く癒しの空間となっている。	【対象者】 来客者
【全体概要】 雪入ネイチャーセンター及び三ツ石森林公園の維持管理を指定管理者に委託することで、事業の実施及び当該施設の有効活用を図る。	【特記事項】 なし
【平成26年度 事業内容】	【平成27年度 事業内容】
指定管理者委託	指定管理者委託
【平成28年度 事業内容】	指定管理者委託

■ 事業費		H26年度	H27年度	H28年度
財源	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	自主財源	19,932	21,175	21,175
	歳入計（千円）	19,932	21,175	21,175
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	08 報償費	12	0	0
	13 委託料	19,920	21,175	21,175
歳出計（千円）（A）	19,932	21,175	21,175	
（参考）	当初予算額	19,920	当初予算額	21,175
職員人工数	0.33	0.33	0.33	
職員人件費（B）	2,584	2,538	2,654	
総事業費（A）＋（B）	22,516	23,713	23,829	

■指標						
種類	指標名	単位		H26年度	H27年度	H28年度
活動 指標	事業報告書の確認	回	目標	12.00	12.00	12.00
	指定管理者からの月報と四半期報の確認		実績	12.00	12.00	0.00
	施設のモニタリング調査	回	目標	24.00	24.00	24.00
	協定書に定められた水準にあるか立入調査及び指導を実施する。		実績	24.00	24.00	0.00
成果 指標	公園に関する苦情件数	件	目標	0.00	0.00	0.00
	苦情件数		実績	0.00	0.00	0.00
	講座受講者数	人	目標	300.00	300.00	300.00
	しぜん教室の受講者数		実績	535.00	688.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 自然とのふれあいを求める来園者が多く、自然保護の普及及び高揚が図られている。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は、税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 自然豊かな公園で来園者にとって癒しの空間であり、講座受講者が増加している。
有効性 評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上らない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 トレッキング等の新たなイベントを実施することで成果が向上する。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 自然とのふれあいを求める来園者に影響がある。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 類似した施設がない。
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。 (仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 現在も活用しているボランティアスタッフを更に活用する。
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。 公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 利用者は増加しており、地域の活性化に貢献している。

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	施設の利用促進と観光スポットとしての一層の集客を図るため、新規イベントの企画、施設（トイレ）の充実が必要である。
	1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方法的性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持）	記入者：根本和幸
	改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 利用者の利便性の向上を図るため関係団体と協力し遊歩道の整備を行うとともに、トイレの設置を検討する。	
	2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方法的性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持）	記入者：田崎 清
	担当部長としての意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 施設利用者の増加を図るため、指定管理者と連携し新規イベントの開催を検討する。	

事務事業評価シート

計画対象年度	平成27年度								
事務事業名	観光サイクリング事業（政策）						事業類型	イベント・行事・各種講座教室等	
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	なし	
			07	01	03	13	政策経費		
総合計画体系	第4章 活力ある産業を育てるまちづくり						総合計画対象	対象	
	第4節 観光の振興						市民協働	市民の関与	
	[1] 観光						担当課係等	観光商工課	
2 観光資源の活用						観光商工係			
事業期間	継続（ 年度～ ）								

現状把握の部 (D0)

【目的】	【関連事業】	
高まるスポーツ参加型イベントのニーズに対応する自転車耐久レースを切り口に、全国のサイクリストに当該地域の魅力をアピールして観光交流人口の増大を図る。	なし	
【期待される効果】	【対象者】	
全国から参加者が集まるイベントを展開することで観光や特産品を全国にPRできる。	サイクリスト及び来客者	
【全体概要】	【特記事項】	
～レイクサイドサイクルフェスタ～「かすみがうらエンデュロ」を開催して、全国に向けて市の観光・特産品をPRする。全国から来場する方々や市内外見学者のため、会場設営委託、警備委託、シャトルバス委託料を計上する。	なし	
【平成26年度 事業内容】	【平成27年度 事業内容】	【平成28年度 事業内容】
<ul style="list-style-type: none"> ・参加者記念品 ・会場設営委託 ・警備委託 	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者記念品 ・会場設営委託 ・警備委託 	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者記念品 ・会場設営委託 ・警備委託

■ 事業費

		H26年度	H27年度	H28年度					
財源	国庫支出金	0	0	0					
	県支出金	0	0	0					
	自主財源	4,263	8,343	6,526					
	歳入計（千円）	4,263	8,343	6,526					
歳出	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）					
	08 報償費	198	259	240					
	11 需用費	0	199	200					
	13 委託料	4,065	4,022	5,786					
	15 工事請負費	0	1,955	0					
	18 備品購入費	0	1,563	300					
	19 負担金、補助及び交付金	0	346	0					
歳出計（千円）（A）	4,263	8,343	6,526						
（参考）	当初予算額	4,404	当初予算額	8,289	伸び率(%)	決	-21.7	予	-21.2
職員人工数	0.73	0.73	0.73						
職員人件費（B）	5,716	5,613	5,870						
総事業費（A）＋（B）	9,979	13,956	12,396						

■指標						
種類	指標名	単位		H26年度	H27年度	H28年度
活動指標	観光PRパンフレット配布枚数	枚	目標	2,000.00	2,000.00	2,000.00
	大会時における観光PRパンフレット配布枚数		実績	2,000.00	2,000.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果指標	参加者人数	人	目標	1,000.00	1,000.00	1,000.00
	かすみがうらエンデューロレースに参加する人数		実績	1,301.00	1,110.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 全国から参加者が集まるサイクルイベントであり、観光情報や特産品を全国にPRできる。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は、税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 全国のサイクリストに観光情報や特産品の魅力をPRし、観光交流人口の拡大につながっている。
有効性評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上がらない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 観光情報や特産品のPRに努める。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 全国から参加者が集まるサイクルイベントとなっており、観光情報や特産品をPRする場となっている。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 他に類似イベントがない。
効率性評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。 (仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 財源確保のためスポンサーの募集に努める。
公平性評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。 公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 全国から参加者を集めことのできるサイクルイベントであり、観光交流人口の拡大につながっている。

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	全国からの参加者を集めているサイクルイベントを活かし、地域の魅力をアピールし、観光交流人口の拡大を図る。運営では、スポンサー、ボランティアを募り経費の削減に努める。
1次評価 (1次評価者として判断した今後の事務事業の方法的性(改革・改善策))		記入者: 根本和幸
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持)		
改革・改善の具体的内容 (改革案・実行計画)		
エンデューロ大会も5回目を迎えることから、参加者の満足度を増すことができるよう工夫する。		
2次評価 (2次評価者として判断した今後の事務事業の方法的性(改革・改善策))		記入者: 田崎 清
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持)		
担当部長としての意見・考え方 (1次評価者と同じ場合も記入)		
エンデューロ大会において、当市の観光PRを図る。		

事務事業評価シート

計画対象年度	平成27年度								
事務事業名	あゆみ庵管理運営事業（政策）						事業類型	管理・運営	
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	なし	
			07	01	04	08	政策経費		
総合計画体系	第4章 活力ある産業を育てるまちづくり						総合計画対象	対象	
	第4節 観光の振興						市民協働	市民の関与	
	[1] 観光						担当課係等	観光商工課	
1 観光拠点の整備						観光商工係			
事業期間	継続（ 年度～ ）								

現状把握の部 (D0)

【目的】 市民や観光客の福祉増進、教養の向上及び余暇の充実に資するため、一息つく憩いの場を提供し、水族館や資料館などへの周遊性を高める。	【関連事業】 なし	
【期待される効果】 貴重な茶室専用の施設として、市民及び観光客の余暇の充実に資するため重要な役割を持つ。	【対象者】 来客者	
【全体概要】 あゆみ庵を有効に活用するため、維持管理費と運営委託の費用を計上する。	【特記事項】 なし	
【平成26年度 事業内容】	【平成27年度 事業内容】	【平成28年度 事業内容】
あゆみ庵運営事業	あゆみ庵運営事業	あゆみ庵運営事業

■ 事業費

		H26年度	H27年度	H28年度					
財源	国庫支出金	0	0	0					
	県支出金	0	0	0					
	自主財源	472	300	300					
	歳入計（千円）	472	300	300					
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）					
	11 需用費	115	0	0					
	12 役務費	57	0	0					
	13 委託料	300	300	300					
歳出計（千円）（A）	472	300	300						
（参考）	当初予算額	514	当初予算額	300	伸び率(%)	決	0.00	予	0.00
職員人工数	0.21	0.21	0.21						
職員人件費（B）	1,644	1,615	1,689						
総事業費（A）＋（B）	2,116	1,915	1,989						

■指標						
種類	指標名	単位		H26年度	H27年度	H28年度
活動 指標	あゆみ庵の見回り回数	回	目標	50.00	50.00	50.00
	職員が実施する年間の見回り回数		実績	54.00	58.00	0.00
	あゆみ庵借席件数	件	目標	3.00	3.00	3.00
	一般の人があゆみ庵を利用（借用）した件数		実績	0.00	3.00	0.00
成果 指標	あゆみ庵に関する苦情件数	件	目標	0.00	0.00	0.00
	苦情件数		実績	0.00	0.00	0.00
	あゆみ庵来庵者	人	目標	500.00	500.00	500.00
	あゆみ庵来庵者数		実績	292.00	341.00	0.00

評価の部（SEE）

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 茶室専用の施設は貴重であり、市民及び観光客の余暇の充実に重要な役割を持っている。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は、税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 市民及び観光客の福祉増進、教養の向上、余暇の充実が図られている。
有効性 評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上がらない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 運営方法及び委託費についての見直しが必要。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 市民及び観光客の福祉増進、教養の向上、余暇の充実に影響がある。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 他に類似した施設がない。
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。（仕様や工法の適正化、市民の協力など）	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 運営方法及び委託費の見直しが必要。
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。公平・公正になっているか。	<input type="checkbox"/> 公平・公正である <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 幅広い方が利用するようPRが必要。

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	利用客が増加するようPRを行う。運営方法及び委託費についての見直しを検討していく。
1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方法的性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持）		記入者：根本和幸
改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） あゆみ庵運営委員会と運営方法について検討が必要である。		
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方法的性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持）		記入者：田崎 清
担当部長としての意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 運営方法、委託費について検討していく。		

事務事業評価シート

計画対象年度	平成27年度							
事務事業名	歩崎公園管理運営事業（政策）						事業類型	管理・運営
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	なし
			07	01	04	04	政策経費	
総合計画体系	第4章 活力ある産業を育てるまちづくり						総合計画対象	対象
	第4節 観光の振興						市民協働	行政の関与
	[1] 観光						担当課係等	観光商工課
1 観光拠点の整備								観光商工係
事業期間	継続（ 年度～ ）							

現状把握の部 (D0)

【目的】	【関連事業】	
市内の家族連れをはじめ、近隣市民の憩いの場を提供し、誘客に努めるため、観光との連携により観光産業の振興を図る。	なし	
【期待される効果】	【対象者】	
市民及び観光客にとっての憩いの場として、様々な機能を兼ね備えており、利用者にとって重要な役割を果たしている。	来客者	
【全体概要】	【特記事項】	
公園(歩崎園地・森林公園・あゆみ庵・民家園・改善センター・艇庫)の清掃作業業者委託・修繕・光熱水費及び土地借上料である。	なし	
【平成26年度 事業内容】	【平成27年度 事業内容】	【平成28年度 事業内容】
・公園（歩崎園地、森林公園、あゆみ庵、民家園、改善センター）の維持管理	・公園（歩崎園地、森林公園、あゆみ庵、民家園、改善センター）の維持管理	・公園（歩崎園地、森林公園、あゆみ庵、民家園、改善センター）の維持管理 ・歩崎公園駐車場の舗装工事

■ 事業費

		H26年度	H27年度	H28年度					
財源	国庫支出金	0	0	9,139					
	県支出金	0	0	0					
	自主財源	12,711	7,102	16,861					
	歳入計（千円）	12,711	7,102	26,000					
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）					
	11 需用費	1,372	0	0					
	13 委託料	7,142	7,102	8,000					
	14 使用料及び賃借料	4,197	0	0					
	15 工事請負費	0	0	18,000					
歳出計（千円）（A）	12,711	7,102	26,000						
（参考）	当初予算額	13,749	当初予算額	8,000	伸び率(%)	決	266.0	予	225.0
職員人工数	0.00	0.42	0.42						
職員人件費（B）	0	3,230	3,378						
総事業費（A）＋（B）	12,711	10,332	29,378						

■指標						
種類	指標名	単位		H26年度	H27年度	H28年度
活動 指標	歩崎公園の見回り回数	回	目標	50.00	50.00	50.00
	職員が実施する年間の見回り回数		実績	58.00	53.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	苦情件数	件	目標	0.00	0.00	0.00
	公園管理に対する苦情件数		実績	0.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 市民、観光客にとって憩いの場となっており、利用者にとって重要な役割を持つ施設となっている。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は、税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 魅力ある憩いの場を市民、観光客に提供している。
有効性 評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上がらない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 管理費についての見直しが必要となる。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 清掃を怠ることで景観を保つことができない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 歩崎周辺施設と連携している。
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。 (仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 効率よく計画的な清掃をすることで費用の削減につながる。
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。 公平・公正になっているか。	<input type="checkbox"/> 公平・公正である <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 管理費及び事業者の選定について見直しが必要。

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	観光客の取り込みに公園等の清掃は必要と考えるが、管理費及び事業者選定の見直しを図り経費の削減に努める。
1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持）		記入者：根本和幸
改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 歩崎公園トイレの建て替えが必要である。		
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持）		記入者：田崎 清
担当部長としての意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 観光施設であるため維持管理は当然であるが、老朽化した建築物等は改修が必要である。		

事務事業評価シート

計画対象年度	平成27年度							
事務事業名	水族館管理運営事業（政策）						事業類型	管理・運営
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	なし
			07	01	04	06	政策経費	
総合計画体系	第4章 活力ある産業を育てるまちづくり						総合計画対象	対象
	第4節 観光の振興						市民協働	行政の関与
	[1] 観光						担当課係等	観光商工課
1 観光拠点の整備								観光商工係
事業期間	継続（ 年度～ ）							

現状把握の部 (D0)

【目的】 観光レクリエーション基地あるいは、広域観光ルートの拠点として、霞ヶ浦を始め、淡水に生息する珍しい魚類等を飼育・展示することにより、自然保護と動物愛護に対する理解を深めると共に、学術及び教育・文化の発展に寄与する。	【関連事業】 なし	
【期待される効果】 霞ヶ浦の淡水に生息する珍しい魚類等を飼育・展示することで自然保護と動物に対する理解を深めるとともに、教育・文化の発展につながっている。	【対象者】 来客者	
【全体概要】 霞ヶ浦の魚類や世界の珍しい生き物を飼育展示することにより、自然保護と動物福祉に対する理解を深めるとともに、学術及び教育・文化の発展に寄与する。	【特記事項】 なし	
【平成26年度 事業内容】	【平成27年度 事業内容】	【平成28年度 事業内容】
・指定管理者委託 ・水族館改修設計委託	・指定管理者委託 ・水族館及びアクアラビリンズ改修工事	・指定管理者委託

■ 事業費

		H26年度	H27年度	H28年度
財源	国庫支出金	0	22,507	0
	県支出金	0	0	0
	自主財源	9,106	10,112	7,410
	歳入計（千円）	9,106	32,619	7,410
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	11 需用費	0	483	0
	13 委託料	8,744	7,666	7,410
	15 工事請負費	0	24,471	0
	18 備品購入費	362	0	0
歳出計（千円）（A）	9,106	32,619	7,410	
（参考）	当初予算額	当初予算額	伸び率(%) 決 -77.2 予 0.00	
職員人工数	0.33	0.33	0.33	
職員人件費（B）	2,584	2,538	2,654	
総事業費（A）＋（B）	11,690	35,157	10,064	

■指標						
種類	指標名	単位		H26年度	H27年度	H28年度
活動 指標	事業報告書の確認	回	目標	12.00	12.00	12.00
	指定管理者からの月報及び四半期報告の確認		実績	12.00	12.00	0.00
	施設のモニタリング調査	件	目標	12.00	12.00	12.00
	協定書に定められた水準にあるか、立入調査及び指導		実績	12.00	12.00	0.00
成果 指標	水族館来館者数	人	目標	35,000.00	35,000.00	35,000.00
	水族館への来館者数		実績	35,955.00	40,462.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 霞ヶ浦の淡水に生息する珍しい魚類の飼育、展示により、自然保護に対する理解を深め、教育、文化の発展に重要な役割を果たしている。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は、税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 霞ヶ浦の淡水に生息する珍しい魚類等を飼育、展示することで学術及び教育、文化の発展に寄与している。
有効性 評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上がらない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 指定管理者と連携して魅力ある施設運営に努める。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 自然保護に対する理解、教育や文化の発展で大きな役割を果たしている。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 他に類似した施設がない。
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。 (仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 指定管理者と連携し魅力ある施設運営に努めることで事業費の削減を図る。
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。 公平・公正になっているか。	<input type="checkbox"/> 公平・公正である <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 社会情勢や必要な変化に対応し、来館者の増加を図る。

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	指定管理者と市が十分に協議し、魅力ある施設運営に努めることで利用者の増加を図る。新たに飼育体験などの体験型学習の導入を検討する。
	1次評価 (1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性 (改革・改善策)) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持)	記入者：根本和幸
	改革・改善の具体的内容 (改革案・実行計画) 指定管理者と連携し、利用者の増加を図る。	
	2次評価 (2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性 (改革・改善策)) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持)	記入者：田崎 清
	担当部長としての意見・考え方 (1次評価者と同じ場合も記入) 指定管理者と連携を図る。	

事務事業評価シート

計画対象年度	平成27年度							
事務事業名	消費喚起プレミアム商品券発行事業（政策）						事業類型	補助事業
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	なし
			07	01	02	11	政策経費	
総合計画体系	第4章 活力ある産業を育てるまちづくり						総合計画対象	対象
	第3節 商工業の振興						市民協働	行政の関与
	[2] 消費生活						担当課係等	観光商工課
1 消費者支援の促進								観光商工担当
事業期間	単年度のみ							

現状把握の部 (D0)

【目的】 かすみがうら市内に店舗のある商店又は事業所において使用できるプレミアム商品券（プレミアム25%）を発行することにより、地域消費者の購買意欲を喚起し、地域経済の活性化と地元消費の拡大を図る。	【関連事業】 なし	
【期待される効果】 地域経済の発展と地元商工業の活性化。	【対象者】 市内在住者・在勤者	
【全体概要】 物価動向や消費に関する地域の実情に配慮しつつ、地域の消費の喚起など景気の脆弱な部分にスピード感を持って対応を絞った対応をすること、及び仕事づくりなど地方が直面する構造的な課題への実効ある取組を通じて地方の活性化を促していくことを目的としている。	【特記事項】 回復の遅れる地方の消費の喚起、「しごと」と「ひと」の好循環作りの実現が、各地方の実情に応じて的確にすすめることを期待するもの。	
【平成26年度 事業内容】 なし	【平成27年度 事業内容】 商品券販売（プレミアム率25%）	【平成28年度 事業内容】 なし

■ 事業費

		H26年度	H27年度	H28年度				
財源	国庫支出金	0	66,674	0				
	県支出金	0	0	0				
	自主財源	0	271	0				
	歳入計（千円）	0	66,945	0				
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）				
	13 委託料	0	66,945	0				
歳出計（千円）（A）	0	66,945	0					
（参考）	当初予算額	0	当初予算額	0	伸び率(%)	決	皆減	予
職員人工数	0.00	0.30	0.00					
職員人件費（B）	0	2,307	0					
総事業費（A）＋（B）	0	69,252	0					

■指標						
種類	指標名	単位		H26年度	H27年度	H28年度
活動 指標	プレミアム商品券販売に伴う打ち合わせ会議	回	目標	0.00	3.00	0.00
	プレミアム商品券販売に伴う打ち合わせ会議		実績	0.00	5.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	子育て家庭支援・シニア応援プレミアム商品券販売部数	セット	目標	0.00	4,800.00	0.00
	子育て家庭支援・シニア応援プレミアム商品券の販売部数		実績	0.00	4,800.00	0.00
	一般用プレミアム商品券販売部数	セット	目標	0.00	17,200.00	0.00
	一般用プレミアム商品券の販売部数		実績	0.00	17,200.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 地域経済の活性化に繋がる。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は、税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 かすみがうら市内に店舗のある商店又は事業所において使用することにより地元商工業の活性化に繋がる。
有効性 評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上がらない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 プレミアム率などの見直し。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input type="checkbox"/> 影響がある <input checked="" type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 他事業により地域経済の活性化を図る。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 類似事業があれば連携可能。
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。 (仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 制度の見直し。
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。 公平・公正になっているか。	<input type="checkbox"/> 公平・公正である <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 1人の購入限度額を減らし、多くの市民が購入できるよう検討する。

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	景気の変動や社会情勢を踏まえ、地域経済の活性化に努める。
1次評価 (1次評価者として判断した今後の事務事業の方法的性 (改革・改善策))		記入者: 根本和幸
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持) 改革・改善の具体的内容 (改革案・実行計画) 今後、事業を実施する場合はプレミアム率を考慮し販売方法等を十分検討すること。		
2次評価 (2次評価者として判断した今後の事務事業の方法的性 (改革・改善策))		記入者: 田崎 清
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持) 担当部長としての意見・考え方 (1次評価者と同じ場合も記入) 交付金等がなければ事業の実施はできない。		